

を増やしたりして、お年寄りが安心して住める町を作れば、お年寄りの不安も解消でき、そこで働く人も増えるため、八百津町もにぎやかになると思います。この先の福祉の充実についてどのように考えていますか。

●岩井健康福祉課長

高齢者のためのサービスの充実や施設の増設をという意見ですが、そのためには税金がたくさん必要になり、結果的にお年寄りを困らせることになることも考えなければなりません。こうした状況の中で、八百津町では幸せに長生きができ安心して暮らせるために、計画的に施設設備の充実を図っています。大きなものとしては、平成22年度に錦織地区に施設ができる予定です。

道路整備(新旅足橋)について

潮見小6年 柘植小津絵さん



私の住んでいる潮南から八百津の市街地へ出かけるには、道幅が狭く危険な道路を通らなければなりません。しかし、新旅足橋が開通すれば安全に短時間で行けるようになり、早く開通して欲しいと願っています。新旅足橋の開通はいつですか。また、安全について工夫していることはありますか。

●片岡建設課長

新旅足橋の開通は、平成22年3月28日の予定です。安全対策については、まず幅2.5メートルの歩道を取りつけてあります。また、照明の設置、防災対策として特殊な施工がされています。さらに地震対策として、縦横90センチの揺れにまで耐えられるような設計になっています。潮南地区の人々には、真に夢の架け橋となるでしょう。

新しい施設を作って、八百津町をアピールすることについて

潮見小6年 林 のぞみさん



八百津町を人権の町、優しい町としてアピールするため、いろいろな人との交流ができるような施設を建設してはどうでしょうか。

●林秘書室長

「新しい施設を作って八百津町をアピール」はとても良い提案ですが、余裕のお金があるわけではなく、実現はとても困難です。八百津町としても既存の施設の活用やイベント等における人々の交流は大切であると考えています。杉原ウィークや産業文化祭、各種スポーツ大会、また地域の運動会や自治会のイベント等にみんなが参加して、触れ合うことがよりよい町づくりにつながるのではないかと考えています。

新丸山ダムのメリットについて

福地小6年 山田さくらさん



現在の丸山ダムにさらに新丸山ダムを建設することは、環境的に疑問に感じます。新丸山ダムの完成後は今の丸山ダムはどうなりますか。また、新丸山ダムを造ることでどのようなメリットがありますか。

●平岡参事

現在の丸山ダムよりも大きな新丸山ダムを造ることにによって、洪水調整能力の向上、水の安定的な供給と河川環境を守るための流水の確保、発電能力の増強等のメリットがあります。これは国の事業で、平成28年度に完成する予定です。これからも関心をもって見守ってほしいです。

八百津町の借金について

福地小6年 佐藤達也さん



八百津町では、町民から多くの税金を集め町をより良くするために使っていることと思いますが、世の中が不況なので、町が破たんしないか心配です。八百津町の借金はいくらありますか。また、それをどのように返していきますか。

●糟谷会計管理者

質問の借金は、今年の3月末で約96億円あります。金額が大きいと思われるかもしれませんが、将来にわたる財産もあると考えてください。次に返済については、長期的な計画に基づいて毎年行っており、年度により差がありますが、毎年3～4億円減っていくことになります。八百津町は財政再建団体にならないように町づくりを進めています。

バス料金について

八百津中3年 古田裕基さん



バスがもっと身近で利用しやすい交通手段となるよう、バスの料金を通勤通学の利用者以外、せめて学生だけでも安くしてください。また、バスの停留所の数を増やしていただき、利用者の増加を図ってください。

●脇山地域産業課長

八百津線については、県の補助を受けながら東鉄が運行しています。企業なので利益をあげないとやっていけないこともあり、多くの利用があるといいのですが、経営は楽ではありません。したがって、学生の負担を減らしてほしいという要望も難しい面もあります。昼間回数券などの有利なサービスを利用いただければ多少負担も減ります。バス停については皆さんが利用しやすい